VHSスーパーダビングマスター

EB-XS600

取扱説明書/保証書

ご使用前にお読みください

ver.01.14.06

「目次」

◆ 安全上のご注意 ・・・

「安全上のご注意」

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき、ありがとうございます。
本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくお使いください。又、お読みになった後は、必ず保管してください。

ご注意

本取扱説明書をお読みになる前に

- 本書の内容については予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れ等、お気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。又、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、又は第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の故障、当社以外の第三者による修理、その修理により生じた画像及び音声データの消失による損害及び逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全上の注意

- 本製品の改造又はご自身での修理は行なわないで下さい。本製品は多くの精密電子部品から成っているため、傷つけたり破損させる可能性があります。問題があった際には当社カスタマーサービス フリーダイヤルに連絡してください。
- 直射日光の当たる場所（自動車内等）や高温になる所、極端に低温になる所、湿気や埃の多い場所、油煙の多い場所等には置かないで下さい。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板等が破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。
- 落下等の衝撃を与えないようご注意ください。
- 埃や振動の多い場所では使用しないでください。
- 本製品を水や海水につけたり、濡れた手で触れないようにしてください。感電や漏電の原因となります。
- 交通安全のため、ヘッドホンは自動車、バイク、自転車の運転中には使用しないでください。又、公共の場所でのご使用の際には周囲の人に迷惑がかからないよう音量に注意しましょう。

充電用機械について

- 長期間充電状態にしますと本体が発熱する場合がありますので、8時間以上の連続充電はおやめ下さい。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

お手入れの際の注意

- お手入れの際には、シンナーや科学洗剤を使用しないで下さい。液晶パネルや操作部の汚れや埃等は柔らかい布で取り除いで下さい。

著作権について

- 本製品で記録した物を私的な目的以外で、著作権者及び他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法及び国際条約の規定により禁止されています。
- 市販の音楽CD等を著作権者の許諾無しに複写することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。

操作する前に

1．付属品の確認をしましょう

●本体
●ACアダプター　1個
●AV出力/入力コード（赤白黄3本に分かれているコード）　1本
（本体の画像をTVモニターなどに出力する場合、AV信号録画する場合に使用します）
●USBコード　1本（パソコンとの接続して充電に使用します）
●イヤホン　1個
●説明書・保証書（本書）　1冊

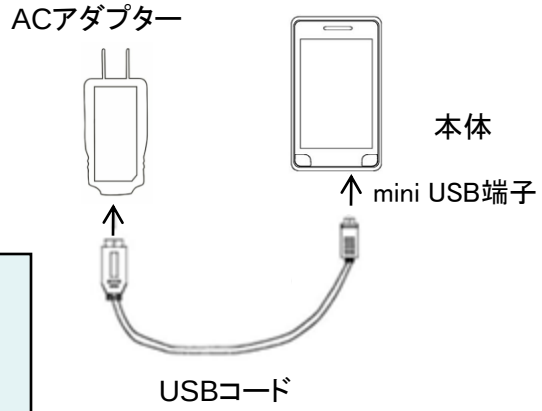
※注意：他の機器との接続の場合、必ず付属品の接続コードをご使用ください。
形が似ているまたは同じ形状の市販品を使用した場合、動作が保証されないだけでなく、
本体や接続機器の故障のもとになる場合があります。
付属品以外の接続コードを使用しての故障に関しては保証対象外とさせていただきます。

2．お使いの前に充電をしましょう

バッテリー不足アイコンがLCD液晶モニターに表示された場合、またはPOWERがオンできない場合、充電する必要があります。

USBコードでACアダプターのUSB端子を本体のmini USB端子に接続し、
家庭用AC100Vコンセントに差し込んで充電します。
充電中、本体液晶画面の右上の電池充電マークが表示されます。
充電が完了すると、電池容量マークがフル状態に表示されます。

電池が無い状態からフル充電させた場合には5時間程度掛ります。
本体内蔵リチウム電池は追加充電が可能です。



※注意：
■充電する時、本体の電源が自動的にオンになります。
充電中、電源をオフにすることができません。
■電池が全く無い状態（本体の電源が入らない状態）で、ACアダプターを接続してAC電源始動させる場合には、5-10分程度充電状態にしてから、本体の電源を投入してください。
■長期間充電状態にしますと本体が発熱する場合がありますので、8時間以上の連続充電はおやめください。

オプションマイクロSDカード（別売）について

●オプションマイクロSDカードを装着してお使いになる場合の注意

1. SDカードの装着、取り外しは本体電源を切り、パソコン接続等も外してから行ってください。
2. オプションマイクロSDカード装着によるメモリーの増加は必ずしもメモリーカードのメモリー容量分増加するとは限りません。

●SDカードを装着した場合の操作

SDカードを装着しますと、本体に2つのメモリーがあることになります。
本体側はFLASHメモリーと呼び、SDカードはSDメモリーと呼びます。
本体機能を使用して画像や音声を記録する場合に**記録されるメモリーを選択する場合はメニューの「設定」➔「メモリー」で変更する**ことができます。

メモリーのフォルダーはパソコンに接続して見ることができます。パソコン接続の説明をご覧ください。
メモリーには特殊な名前のフォルダーが自動的に作成され、それぞれのフォルダーには役割があります。

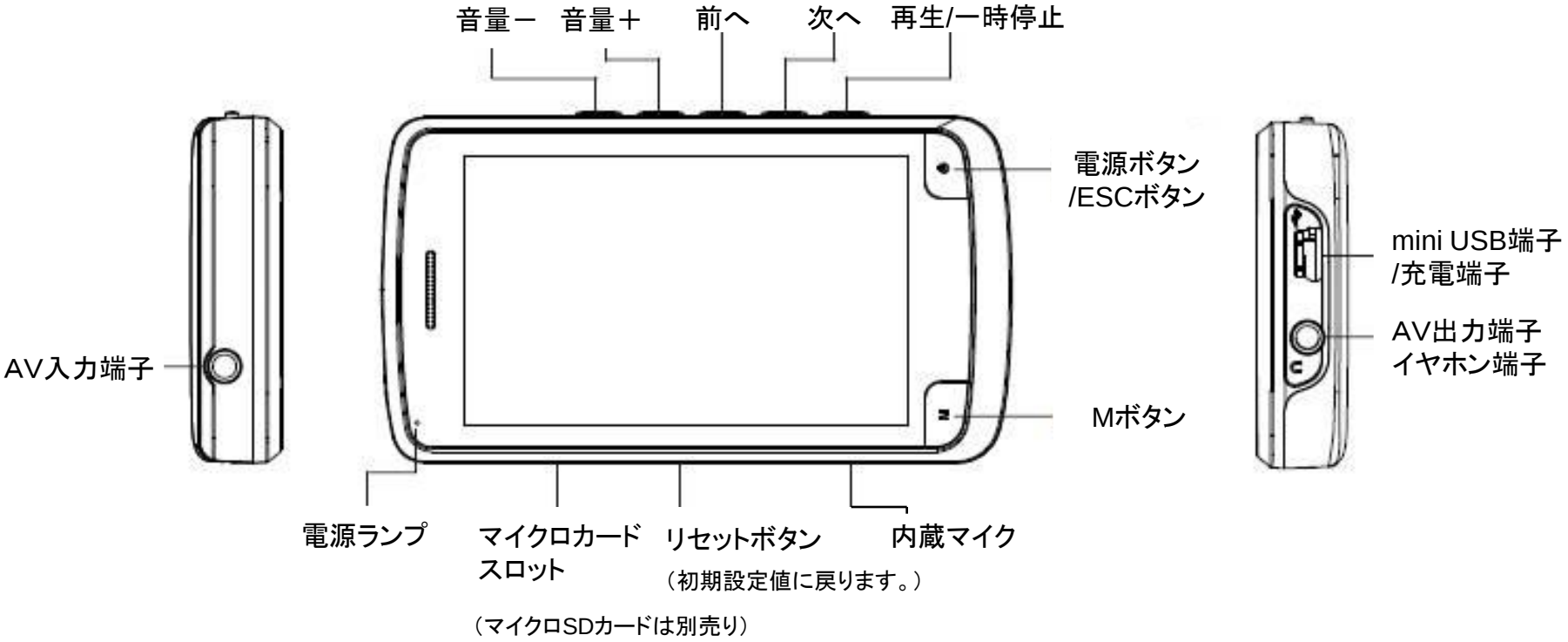
フォルダーの名前	役　割
VIDEO	本体で撮影した動画が記録、保存されます。
PICTURE	本体で撮影した静止画が記録、保存されます。
MUSIC	主に音楽や音声のファイルを保存するフォルダーです。 パソコンからMP3等の音楽ファイルを転送する場合はこのフォルダーにコピーします。
ARECORD	本体で録音したファイルが記録、保存されます。

※注意：動画・静止画・音楽ファイルを上記のフォルダー以外にコピーしますと正常に表示・再生されませんのでご注意ください。
各フォルダー内にフォルダーを作成した場合、本機では認識できません。
日本語のファイル名は正しく表示できません。

●別売マイクロSDカードの装着について

別売マイクロSDカードは8GBまでサポートしますが、メーカーによっては正常に動作しない場合があります。
現在技術的にすべてのメモリーカードについてサポートすることは不可能でございますのでご了承ください。
またお使いのマイクロSDカードと同一のメーカーであっても製造ロットなどにより、同様な動作をしない場合もあります。
マイクロSDカードの内容について万が一破損や消滅があった場合、それによる損害の一切の責任は負いかねます。

各部の名称



アイコン

マイクロカードスロットにカードがあります

SDカードがワークスペースです

スピーカーオン

アラームオン

TV出力

電池容量

フル　やや不足　半分　不足

※注意：
電源のON/OFFは電源ボタンを長押し（3-5秒）します。すぐに指を離すとON/OFFになりません。

操作の開始

■電源を入れる
電源ボタンを長押しします（3-5秒）。誤作動防止のため、少し長めに押してください。
電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると初期メニューが表示されます。
ここからスタート致します。

■初期メニューの表示（電源を入れたときに表示される画面です）
●機能：本機械のいろいろな機能の選択をします。
●操作方法（メニューの選択）
「前へ、次へ」ボタンでアイコンを移動し、「再生/一時停止」ボタンで決定します。
●言語初期設定は日本語です。

メニューの機能	概要説明
Video（ビデオ）	記録された動画の再生をします。
Audio（音楽）	MP3形式ファイルなどの音楽や音声ファイルの再生をします。
Photo(写真）	JPEG形式などの静止画像ファイルの表示をします。
DV　(カメラ）	内蔵カメラで静止画又はビデオの撮影をします。
TV-in （TV）	ケーブル接続によるAV録画をします。
REC （録音）	マイク録音をします。
Calendar （カレンダー）	カレンダーを表示します。
Clock（アラーム）	アラームを設定します。
Setup （設定）	言語、日付/時刻、テレビ出力方式、メモリー、スピーカー、スクリーン自動オフ、自動パワーオフ、システム初期化、システムアップデートを表示します。

操作のヒント：基本操作
操作中に作業を中断してメニューに戻るには「電源」」キーを押すことで戻ることができます。
ただし操作状況によってはメニューに戻らない場合もあります。

1 ビデオ映像を撮影する

■メニュー ⇒ DV（カメラ）

「前へ、次へ」ボタンで「カメラ」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。
「M」ボタンを押して、「撮影モード」画面が表示され、「前へ、次へ」ボタンで「ビデオ撮影」を選び、
「電源」ボタンを押して決定します。ビデオ撮影モードになります。

録画開始: 「再生/一時停止」ボタンを押して開始します。
撮影時間が液晶の左上に表示され、録画を開始します（時:分:秒）。
録画停止: 録画停止はもう一度「再生/一時停止」ボタンを押します。
注意:録画を開始/停止するごとに動画記録ファイルは1つずつ作成されます。
録画終了: 終了は「電源」ボタンを押します。初期メニューに戻ります。
録画確認: 初期メニューから「Video」を選択し、「RECORD」フォルダーを開いて画像を確認してください。
記録ファイル:動画のファイルはRECORD000.mp4というファイルから順番に1つずつ番号が増えていきます。

動画の画像解像度は320×192ピクセル、640×384ピクセルの二つのサイズがあります。

●オプション設定:「M」ボタンを押すと、撮影する画像のいろいろな設定が変更できます。
「M」ボタンを押し、「＋、－」ボタンでオプション項目を選択し、
「前へ、次へ」ボタンでサブメニューを選択して、「電源」ボタンで決定し、オプション設定画面を終了します。

オプション
ビデオの形式: MPEG4
解像力: 320×192、640×384 より選択
夜間モード: オフ
ホワイトバランス:自動、日光、曇り より選択
画質: 普通
電源周波数: 50Hz、60Hz

2 静止画像を撮影する

■メニュー ⇒ DV（カメラ）

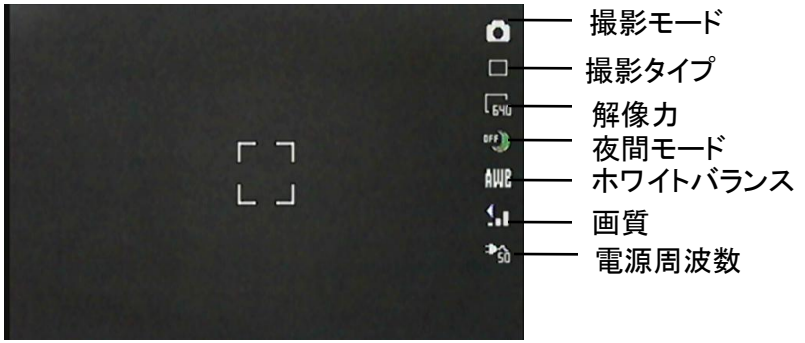
「前へ、次へ」ボタンで「カメラ」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。
静止画撮影モードになります。
画面に本体のカメラで撮影した画像が表示されます。
撮影する被写体にカメラを向けて「再生/一時停止」ボタンを押します。

撮影のヒント:「再生/一時停止」ボタンを押してすぐには動作しませんので、
液晶画面に撮影画像が表示されるまでカメラを動かさないようにしましょう。
撮影した画像の見かた:撮影した画像は初期メニュー画面の「写真」でご覧ください。
撮影した画像の削除方法:「写真」の説明をご覧ください。
撮れる画像の仕様マークが液晶の右に表示されます。

●オプション設定:「M」ボタンで撮影する画像のいろいろな設定が変更できます。
「M」ボタンを押し、「＋、－」ボタンでオプション項目を選択し、
「前へ、次へ」ボタンでサブメニューを選択して、「電源」ボタンで決定し、オプション設定画面を終了します。

オプション

撮影タイプ:	一枚/ 連続 より選択
解像力:	320×192 / 640×384/1280×768/ 1600×960 より選択
夜間モード:	オフ/ オン
ホワイトバランス:	自動/ 日光/ 曇り
画質:	普通/ 良い/ 高画質 より選択
電源周波数:	50Hz/ 60Hz



静止画撮影画面

3 撮影・記録したビデオ映像を見る

■メニュー ⇒ Video(ビデオ)

●操作
「前へ、次へ」ボタンで「ビデオ」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。
「＋、－」ボタンで前のページ、次のページを開きます。「前へ、次へ」ボタンで動画ファイルを選択します。
「再生/一時停止」ボタンで再生します。液晶画面に動画再生画面が表示されます。
※注意:
表示できるファイルがない場合は画面に「ファイルなし」と表示されます。
「電源」ボタンで最初のメニューに戻ります。

●再生時の操作
「M」ボタンを押すと、再生情報が液晶に表示されます。表示は一定時間でなくなります。
(1)早戻り、早送り:
「前へ、次へ」ボタンを長押すると早戻り、早送りになります。
※注意:押している間だけ早送りします。
(2)一時停止 :
「再生/一時停止」ボタンを押します、再開はさらに「再生/一時停止」ボタンを押します。
(3)スキップ戻り、スキップ送り:
「前へ」ボタンを押すとスキップ戻りになります。
「次へ」ボタンを押すとスキップ送りになります。
(4)ボリューム(音量)の調整: 「＋、－」ボタンでボリューム(音量)を調整します。
(5)再生中止:「電源」ボタンを押し、「ブックマーク保存？」画面が表示され、「前へ、次へ」ボタンで
「はい、いいえ」を選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。
ブックマーク保存されると、ファイルマークに★がつけます。

●ファイルを削除
ビデオファイルをリスト表示される時、「M」ボタンを押すと、「削除」画面が表示され、
「前へ、次へ」ボタンで選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。

●フリーズ時の操作
画面が動かない、再生がとまったまま(フリーズ)など、「困ったときの操作」をご覧ください。

例:

4 画面内容をテレビ等に表示される

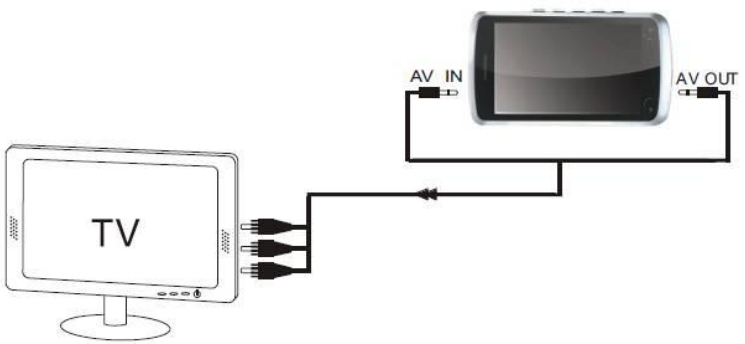
■メニュー ⇒ Video（ビデオ）

●機能：本機の画面に映っている内容をそのままテレビ等の映像入力機器へ出力表示させます。

●操作
1. AVケーブル（黄赤白のピンジャック付コード）を用意します。本体のAV　OUT（イヤホン端子）にジャックを奥まで差し込み、テレビ等の
   映像入力機器AV　IN端子と接続します。
2. 「設定」画面で、「テレビ出力方式」を「NTSC」に設定すると同時に、本機の画面表示が消え、接続している映像入力機器へ表示されます。
3. 接続中の映像入力機器の画面を見ながら設定を行います。「ビデオ」メニューで動画ファイルリストから再生するファイルを選択し
   「再生/一時停止」ボタンで再生します。

※国内のテレビの映像信号方式はほとんどがNTSC方式ですので、「PAL」は使用しません。
「オフ」 ・・・・・テレビ出力しません。
「PAL」 ・・・・・PALという映像信号方式の機器に表示する時に選択します。海外で使用される映像信号方式です。
「NTSC」 ・・・・NTSCという映像信号方式の機器に表示する時に選択します。日本で使用される映像信号方式です。
（テレビ等に表示する場合、通常はTV-NTSCを選択してください。）

●接続時の注意：
AVケーブルを本体と接続する時、力を入れすぎると、端子を壊したり、故障の原因になりますので、ご注意ください。
テレビ等の機器の映像入力端子に黄色のピンジャック、音声入力端子（L/R）に左音声（白いピンジャック）、右音声（赤いピンジャック）を接続します。



5 撮影した静止画像を見る

■メニュー ⇒ Photo(写真)「写真など静止画像ファイルの再生」

●操作
「前へ、次へ」ボタンで「写真」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。写真の一覧が表示されます。
「M」ボタンを押して、「縮小版」と「一覧表示」を切換します。
一覧表示の状態で、「＋、－」ボタンで前のページ、次のページを開きます。「前へ、次へ」ボタンで写真を選択します。
※注意:表示できるファイルがない場合は画面に「ファイルなし」と表示されます。
「電源」ボタンで最初のメニューに戻ります。

●画像表示の操作
「再生/一時停止」ボタンで表示するファイルを決定し、全画面表示になります。
「前へ、次へ」ボタンで前後の画像を選び、「+、-」ボタンで画像を拡大縮小します。
全画面表示中、「再生/一時停止」ボタンを押すと、自動再生します。
表示終了:「電源」ボタンを押すと、選択画面に戻ります。

●フリーズ時の操作
画面が動かない、再生がとまったまま(フリーズ)など、「困ったときの操作」をご覧ください。

●その他の操作(必要な場合に操作します)
全画面表示時、「M」ボタンを押し、「前へ、次へ」ボタンでオプション項目を選択し、「再生/一時停止」ボタンで決定します。
オプション設定画面を終了するには「電源」ボタンを押します。

オプション:
スライド: 「スライド」を選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。スライド表示が始まります。
「スライド放送時間設定」を選び、「3秒、5秒、10秒」スライドショーの時間が設定できます。
SLIDE実行する時、「電源」ボタンを押すと、スライド表示を停止します。

写真削除: 「 はい / いいえ」 「前へ、次へ」ボタンで選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。

写真情報: 画像情報が表示されます。

6 音楽・音声を聴く

■メニュー ⇒ Audio（音楽）

●操作
「前へ、次へ」ボタンで「音楽」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。
「+、-」ボタンで「プレイリスト、アーティスト、曲、録音ファイル」を選択します。
「前へ、次へ」ボタンでファイルを選択します。
※注意：表示できるファイルがない場合は画面に「ファイルなし」と表示されます。
日本語のファイル名は文字化けします。「ESC」ボタンで最初のメニューに戻ります。

●ファイルの選択
「再生/一時停止」ボタンで再生するファイルを決定します。画面に再生ファイルの情報が表示され、再生が始まります。

●再生中の操作
(1)早戻り、早送り：
「前へ、次へ」ボタンを長押すると早戻り、早送りになります。
※注意：押している間だけ早送りします。
(2)一時停止：
「再生/一時停止」ボタンを押します、再開はさらに「再生/一時停止」ボタンを押します。
(3)スキップ戻り、スキップ送り：
「前へ、次へ」ボタンを押すとスキップ戻り、スキップ送りになります。
(4)ボリューム（音量）の調整：「＋、－」ボタンでボリューム（音量）を調整します。
(5)EQ：「M」ボタンを長押すると、「NOR（ノーマル）、BASS、ROCK、JAZZ、POP」EQモードに切換します。
(6)リピート：「M」ボタンを押すと、リピートモードに切換します。

●フリーズ時の操作
画面が動かない、再生がとまったまま（フリーズ）など、「困ったときの操作」をご覧ください。

●その他の操作（必要な場合に操作します）
ファイルリストの選択時に「M」ボタンを押しますとオプションの操作ができます
書類削除：　「はい/いいえ」を「前へ、次へ」ボタンで選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。
アラームの音：「はい/いいえ」を「前へ、次へ」ボタンで選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。
同期のデータベース：「はい/いいえ」を「前へ、次へ」ボタンで選び、「再生/一時停止」ボタンで決定します。
※ヒント：　日本語のファイル名は文字化けしますので、アルファベットに名前の変更にしましょう。

例：

例：

7 AVケーブル接続によるーAV録画について

■メニュー ⇒　TV in（TV）

●操作：動画映像ファイルの録画
機能：AV機器類のNTSCまたはPAL信号（ビデオ出力）端子から動画および音声（L/R）の端子から音声を録画します。

準備：AVケーブル（黄赤白のピンがついているコード）を用意し、本体のAV／INジャックを奥まで差し込みます。
　　力を入れすぎると端子を壊したり、故障の原因になりますので注意してください。
　　AV機器類のビデオ出力（VIDEO　OUT）端子に黄色のピンジャックを接続します。
　　AV機器類の音声出力端子（L／R）に左音声（白いピンジャック）、右音声（赤いピンジャック）を接続します。

録画開始：
　「前へ、次へ」ボタンで「TV in」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定すると、画面に録画される画像が表示されます。
　画像を確認したら、「再生/一時停止」ボタンを押しますと録画が開始されます。

　録画終了：もう一度「再生/一時停止」ボタンを押して停止します。「電源」ボタンでメニューに戻ります。
　録画確認：初期メニューから「Video」を選択し、画像を確認してください。
　記録ファイル：動画のファイルはTVREC000.mp4というファイルから順番に1つずつ番号が増えていきます。

●フリーズ時の操作
画面が動かない、再生がとまったまま（フリーズ）など、「困ったときの操作」をご覧ください。

※注意：
上記画像確認時にブルーバック（青い画面）が表示された場合は入力信号がない状態です。
ケーブルやビデオ端子などを確認してください。
ビデオ端子（黄）は、入力側は接続していないかご確認ください。

8 録音について

■メニュー ⇒　REC（録音）

●「前へ、次へ」ボタンで「録音」アイコンに移動し、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。

機能：内蔵マイクで音声を録音します。モノラル音声記録となります。

録音開始：　「再生/一時停止」ボタンですぐ内蔵マイクで録音を開始します。
録音終了：　もう一度「再生/一時停止」ボタンを押して停止します。「電源」ボタンでメニューにもどります。
録音確認：　録音直後、録音されたファイルの情報、「放送開始」が表示され、「再生/一時停止」ボタンを押して再生します。
　　初期メニューから「Audio音楽」を選択し、「+、−」ボタンで 録音ファイルに移動して確認します。
記録ファイル：音声ファイルはAud0000.aacというファイルから順番に1つずつ番号が増えていきます。

●フリーズ時の操作
画面が動かない、再生がとまったまま（フリーズ）など、「困ったときの操作」をご覧ください。

9 カレンダー

■メニュー⇒　Calendar(カレンダー)

操作:「前へ、次へ」ボタンで「カレンダー」アイコンを選び、「再生/一時停止」ボタンを押すとカレンダーが表示されます。
※日付の設定はP16の「日付/時刻」を参照してください。

ほかの画面に切り換えるには「+、−」ボタンで月を選び、「前へ、次へ」ボタンを押すと、年が変わります。

例:

10 アラーム

■メニュー⇒　clock(アラーム)

操作:「前へ、次へ」ボタンで「アラーム」アイコンを選び、「再生/一時停止」ボタンで決定し、次の画面が表示されます。

オン	または	オフ
アラーム時間設定		アラーム時間設定

●操作:
「前へ、次へ」ボタンで設定したい項目を選択し、「再生/一時停止」ボタンで決定します。

アラーム機能をオン・オフにする:
「オンまたはオフ」を選択し、「再生/一時停止」ボタンを押し、「前へ、次へ」ボタンで選び、アラーム機能をオン/オフにします。
アラーム機能をオンに設定すると、アラームマークが液晶画面の左上に表示されます。

アラーム時間を設定する:
「アラーム時間設定」を決定すると、設定画面が表示され、「再生/一時停止」ボタンを押して、黄色枠が表示され、
「前へ、次へ」ボタンで時間の調整ができます。
「+、−」ボタンで時、分に選びます。
時間を調整後、「電源」ボタンを押してください。

11 各種設定をする

■メニュー ⇒ Setup（設定）
機能：本体の設定などを行います
選択：「前へ、次へ」ボタンで移動し、「再生/一時停止」ボタンで決定します。「電源」ボタンでメニューに戻します。

言語
日本語 / ENGLISHの言語のみ有効です。言語を選び、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。

日付/時刻
「前へ、次へ」ボタンで日付/時間の設定を選び、「再生/一時停止」ボタンを押すと、黄色枠が表示されると、「前へ、次へ」ボタンで調整します。
「＋、－」ボタンで、年・月・日を選べます。「電源」ボタンを押し、保存して終了します。

テレビ出力方式：「オフ、PAL、NTSC」テレビの出力方式が選べます。

メモリー
記録や表示に選択されているメモリーの状態を表示します。内蔵メモリーは「Flash」で、外部メモリーは「SDカード」です。初期ワークスペースは「Flash」です。
必要に応じて、「Flash」または「SD」をワークスペースに設定します。「前へ、次へ」ボタンで「ワークスペース/フォーマット」を選べ、「再生/一時停止」ボタンで決定します。本体の操作によって作ったファイルはワークスペースに保存されます。
ご注意：「Flash」または「SD」をフォーマットする前に、データをコピーしておいてください。
※SDカードをワークスベースに設定した場合は撮影したビデオや写真は容量によって本体で確認することが出来ない可能性もあります。
その場合はパソコンに接続してファイルを確認してください。

スピーカー
「オフ/オン」を選んで、音声出力をオフ/オンにしてください。

スクリーン自動オフ
操作をせずに一定時間たつと省電力モードまでの時間設定をします。
省電力モードを設定すると、液晶画面は真っ黒状態になります。任意ボタンを押して、画面が戻ります。
「閉じる / 20秒 / 1分/ 3分」を選び、「再生/一時停止」ボタンを押して決定します。

自動パワーオフ
操作をせずに一定時間たつと電源を切るまでの時間設定をします。
「閉じる / 3分 / 15分 / 60分」を選択し、「再生/一時停止」ボタンで決定します。

システム初期化
本体の設定が混乱して操作しにくい場合など、初期画面を元に戻したい場合などに本体設定の初期化を行い、購入時の状態に戻します。
※システム初期化を行う前に、大事なデータを必ずバックアップを取ってください。

システムアップデート
本機の情報が搭載されます。

困ったときの操作・対処

●電源ボタンを押しても電源が入らない
対処1：電源ボタンを長押し（3-5秒程度）して、電源を投入してください。
対処2：充電がなくなっている場合がありますので、充電を行ってください。
USBコードでACアダプターのUSB端子を本体のmini USB端子に接続し、家庭用
AC100Vコンセントに差し込んで充電します。
対処3：長期間の使用で内蔵電池が劣化したため内蔵電池の交換が必要な場合もあります。
（電池の交換、廃棄は当社までお問い合わせください）

●電源は入っているが画面がフリーズ状態で操作できない、画面が白い（フリーズ：本体コンピューターの停止状態）
対処1：電源ボタンを長押して、電源が切れたら、電源再投入してください。
対処2：下部のリセットボタンを押してください。電源が切れますので、電源再投入してください。（初期設定に戻る場合があります）
※大事なデータを必ず前もってバックアップを取ってください。

●ボタン操作が正常にできない、画面に意味のない記号が表示され、動作が異常であります。
対処1：電源ボタンを長押しして電源を切ります。またはリセットボタンを押す
対処2：充電が十分でない場合も正常な動作をしなくなる場合があります（本体コンピュータの異常動作）。
充電が十分であることをご確認ください。
※注意：本体バッテリの残量が極端にない場合に、充電しながら本体の電源を入れますと自動的に本体の電源が切れる場合があります。
この場合同時に充電動作も切れる場合がありますので、再度充電ジャックを差し込みなおし、充電ランプが点灯するのを確認してください。

●メモリーカードが認識できない
対処1：メモリーカードの相性が悪いと思われます、他のメーカーの製品でお試しください。
対処2：今まで使っていたものであればメモリーカードの接点を綿棒などできれいに拭いて再度差し込みます。
（接点の汚れ・酸化などが原因の場合）

●電源を入れた後、しばらくすると電源が切れる。
対処1：充電が十分ではありません、4-5時間充電してください。
対処2：3時間以上充電しても症状が改善されない場合は内蔵電池の寿命と考えられます。
（電池の交換、廃棄は当社までお問い合わせください）

●水の中などに落として動かなくなった場合の処理
本製品は防水・防滴仕様となっておりませんので、水などの液体に入れた場合、または雨などで本体が著しくぬれた場合、本体は電気的な損傷を受ける場合があり、その後の動作は保証しておりません。
スイッチなどを入れずに1時間以上様子を観察し、直後に発熱している場合は電池がショートしていることが考えられますので手を触れず、周りに可燃物がないところ（地面など）で本体から5m以上はれて24時間以上様子を見たあと、最寄の電気店などに廃棄を依頼してください。
マイクロSDメモリーカードは取り外し、水を切ってよく乾かした後に無水アルコール・四塩化炭素などで清浄すると動作する場合がありますが、当社では水濡れ後のメモリーの動作の保証はいたしかねます。

仕　様

搭載メモリー	4GB 保存可能な枚数（撮影環境等によっては異なります） カメラ：640*384（約38072枚）；1280*768（約13596枚）；1600*960（10574枚） ビデオ：320*192（約400分間）；640*384（約100分間） AV/IN録画：320*240（約7時間）
拡張メモリー	Micro SD スロット（最大Micro SDHC 8GBまで可能）
内蔵カメラ	30万画素
画面	3インチワイド画面
対応ファイル	動画ファイル：MPEG-4/ AVI/ RM/ RMVB/ WMV/ VOB/ DAT/ MPG/ FLV 音楽ファイル：MP3/ WMA/ FLAC/ APE 写真ファイル：JPEG
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵
入力端子	AV IN端子：　ビデオ入力端子
出力端子	AV OUT端子：　ビデオNTSC/PAL出力端子 イヤホン端子：　3.5mmイヤホンジャック
インターフェース	mini USB2.0
バッテリー	内蔵（最大連続再生：音楽再生　約6時間/　動画再生　約4時間）
寸法/　本体重量	約　95mm×53mm×12mm　/　85g
対応OS	Windows98、Me、 WindowsNT、2000、XP、VISTA、Windows 7、Windows 8
付属品	ACアダプター×1、AV出力・入力コード×1、USBコード×1、イヤホン×1、取扱説明書×1

保証条件の内容

保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。
ご確認ください。

1、誤った使用・不当な修理・改造・分解で生じた故障または損傷。

2、お買い上げ後の落下・故意による破損・輸送等で生じた故障または損傷。

3、火災・天災地変・塩害・異常電圧・指定外電圧使用等での生じた故障または損傷。

4、本書の提示がない場合。

5、本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。

6、一般家庭用以外（業務用等）、または異常な連続使用による故障または損傷。

7、使用時に起きた傷・色あせ・汚れ・または保管の不備で起きた損傷。

8、付属品と消耗品の交換

●本書（保証書）は日本国内において有効です。